

みんなのしあわせ

主な内容

- 末広老人福祉センター開設予定等 2P
- 地域だより 3P
- 報告 4P
- お知らせ 5P
- ボランティアセンターだより 6P

編集発行 水戸市社会福祉協議会広報委員会
 社会福祉法人水戸市社会福祉協議会
 〒 311-4141 水戸市赤塚1-1
 (水戸市福祉ボランティア会館内)
 TEL 309-5001 FAX 309-5525
 URL <http://www.mito-syakyo.or.jp>
 E-mail syakyo@mito-syakyo.or.jp

「ボランティアまつり in ミオス」10年目を迎えて

地域で活動するボランティアがお互いに連携し、水戸市のボランティア活動の振興を図ろうと、「第10回ボランティアまつり in ミオス」(水戸市ボランティア連絡協議会主催)が10月16日、水戸市福祉ボランティア会館で開かれ、約500人の来場者で賑わいました。来賓として高橋靖水戸市長様からご挨拶をいただきました。

き、10年目の開催となった今年は、「地域住民の安全と健康づくりをめざして」と題して、東日本大震災の体験をふまえ、防災コーナーを設置し、震災への対応を呼び掛けました。また、手話や点字、車イス等の体験コーナーのほか、マジックショーや朗読、いきいき体操等のステージコーナーも人気を集めていました。

長は「様々なボランティアサークルのみなさんの協力に支えられて続けられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。この交流で得たものが、世代を超えて地域のボランティア活動に還元できれば本当にうれしい」と願いをこめました。

オープニング式典テープカット
(中央 高橋靖水戸市長)



いきいき体操でストレッチ

節目の開催に水戸市ボランティア連絡協議会の名雪マサ子会



水府病院による健康チェック



防災クイズにチャレンジ

共同募金運動が スタートしました

“赤い羽根”で親しまれている共同募金が10月1日から始まり、JR水戸駅南で高橋靖水戸市長をはじめ多くの関係者が集まりオープニングセレモニーが開催され、3か月にわたる募金運動が始まりました。また10月3日まで街頭募金が行われ、広く市民に共同募金への協力を呼びかけました。



たくさんの市民から善意が寄せられました（水戸京成百貨店前）

セレモニーで募金を呼びかけた水戸ホーリーホックのマスコット、ホーリーくん和水戸の梅大使（JR水戸駅南）



水戸市 末広老人福祉センターが オープンします

水戸市社会福祉協議会は、12月1日(木)に開館予定の「水戸市末広老人福祉センター」(末広町)の指定管理者として施設の運営をすることになり、オープンに向けて準備を進めています。

同センターは老朽化した老人福祉センター「八幡荘」の代わりに、新たに開設する老人福祉センターです。市民のみなさんに親しまれるような施設となるよう職員一同、施設運営に努めてまいります。ぜひご利用ください。

なお、「八幡荘」の一般利用は11月22日(火)をもって終了いたします。長い間のご愛顧ありがとうございました。



新たにオープンする「水戸市末広老人福祉センター」

地元サツマイモ贈呈で 地産地消を推進

地元産のサツマイモを施設利用者などに食べてもらいたいと、地産地消の普及と食育活動の一環で、水戸農業協同組合(大槻義光代表理事組合長)からサツマイモ「紅あずま」50ケース250キロ分が水戸市社会福祉協議会に贈呈され、9月7日、福祉ボランティア会館で贈呈式が行われました。贈られたサツマイモは市内20か所の児童施設や障害者施設などに配られました。



▶サツマイモを贈呈する水戸農業協同組合の大槻義光代表理事組合長(左)

地域だより

社協 堀原支部 福祉員等研修会

10/15 開催

社協堀原支部（江幡瑞雄支部長）は、地域でさまざまな福祉活動に取り組んでいる福祉員や福祉活動推進員を対象に、堀原市民センターで研修会



言葉が人生を豊かにする(講演する岩上堯会長)

を開き、38名が参加しました。この日は水戸市社会福祉協議会の岩上堯会長が「言葉の力と健康」と題して、著名人のエピソードなどを交えて講演しました。岩上会長は講演の中で、気持ちを若く保つ秘訣として「信念、自信、希望」を持ち続けることが大切だと話

し、福祉活動で心がけることとして「小さな優しさ」が人の笑顔につながるのと語りかけました。参加した女性の福祉員は「ユーモアたっぷりのお話がとても楽しく、これからの地域での活動や話題づくりに役立てていきたい」と感想を話していました。

社協 吉田支部

地域ボランティア ミニ体験講座

8/26 開催



講話に耳を傾ける参加者

社協吉田支部は地域の福祉活動を担うボランティアを発掘し、活動に必要な知識と技術を習得することを目的に「地域ボランティアミニ体験講座」を開き、会場となった吉田市民センターには37名の方々が集まりました。講座の始めに、ボランティア活動を実践されている社協登録ボラン

ティアの近藤祥子さんからボランティア活動を始めたきっかけや日々の活動への思いなどの講話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。続いて車イスやアイマスク、高齢者疑似体験セットを使用して実技体験が行われました。今回の講座を通して小坏稔支部長は「障害者や車イスを使っている高齢者などを目にするのがあっても実際に手を差しのべることがなかなかできない。今日の体験をこれから有意義に活用してほしい」と期待を寄せました。



車イス介助やアイマスクを体験



報告

南部老人福祉センター

「ふれしあ」

水戸養護学校交流会

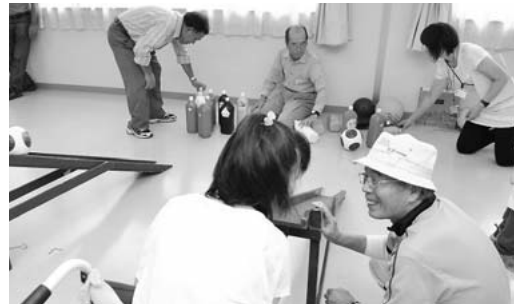
9/22開催

養護学校の子どもたちと地域の高齢者の方々の世代交流活動を通して養護学校の理解と認識を深めるとともに、児童の社会経験と高齢者の生きがいが高めようと、南部老人福祉センター「ふれしあ」で交流会が開かれました。水戸養護学校（吉沢町）の小学部児童13名が元気な挨拶とともに「ふれしあ」を訪れると、吉田地区高齢者クラ



紙風船で遊ぼう

ブ梅寿会のみなさんが笑顔で迎えました。交流会ではペットボトルボウリングや紙風船、飛行機飛ばしなど、楽しい遊びに子どもたちは大喜び。梅寿会の方々も歓声を上げながらゲームを楽しみました。交流会の最後に梅寿会の樋口四郎会長は「みなさんの笑顔を見て私たちも元気をもらいました」と挨拶し、児童から「今日は短い時間でしたが、とても楽しかったです。ありがとうございます」とお礼の言葉がありました。とお礼の言葉があると会場は拍手に包まれました。



ペットボトルボウリングでストライク



吉田梅寿会のみなさん



風船を飛ばしてフィナーレ

常澄老人福祉センター 作品展示発表会

10/5～10/7開催

常澄老人福祉センター

は陶芸、書道、ちぎり絵、水墨画の作品展示と、太極拳、歌謡、フラダンス、詩吟、舞踊、ヨーガなどの教室やクラブの発表会を開き、連日たくさんの方々が賑わいをみせました。6日に行われた舞踊クラブ発表会では、次々に披露される華麗な踊りに満員の会場からは盛んな拍手と歓声を送られていました。作品展示の



大作の前に（ちぎり絵展示）



息もぴったり
（舞踊クラブ発表）



会場は大盛況

会場では、すばらしい出来栄の作品が並び、多くの人が足を止めて見入っていました。ちぎり絵の展示会場を訪れた女性は「これだけの作品を仕上げるには大変な根気が必要ですね」と感嘆の声を上げていました。また、開催期間中は陶芸、ちぎり絵の作品即売も行われ、たくさんの人だかりができていました。

ご芳志ありがとうございました

水戸市社会福祉協議会 平成23年8月～23年9月受付分
(敬称略・順不同) 随時受付しております。

寄付金 (社会福祉事業に)

与三郎庵
(平成23年度9月末累計額 564,734円)

使用済切手・テレホンカード・物品等

外岡健夫、水戸市役所、佐竹威子、鈴木孝子、(有)小島工業所、赤塚郵便局、川井禮子、茨城県退職公務員連盟水戸支部、黒沢恒雄、真下寿宣、宮下かかし、島根初絵、宇佐美文江、昭和32年度赤塚中学校卒業生ボプラの会、ボーイスカウト水戸第2団、茨城県国民年金基金、ときわふれあいでんわの会、俳誌「ひたち野」発行所、藤橋よし江、野菊の会、(財)茨城県薬剤師会、公衆衛生検査センター、関東ビルサービス(株)、小沼しづ江、田山奈美恵、檜山敏子、池田洋子、(株)東和、根本喜美江、川村和雄、滝田昌子、大内けい子、小林喜恵、サークル・点心、ガールスカウト茨城18団、大和ハウス工業(株)茨城支店、柏洋子、益子威男、根本和典、須能忠彦、(株)フジクリーン茨城、ふれあいクラブ、水戸更生保護女性会、せっせっせの会、大谷久子、みどり幼稚園父母の会、ポケットファームどきどき、朗読ボランティアコスモス、椋崎ひろ子、第一高等学院水戸校、NPO法人水戸こどもの劇場、清藤光子、増渕茂子、皆川栄一、松井喜代子、岡田栄、望月総合法律事務所、大槻恭子、小林廣美、柳沼久美子、水戸農業協同組合、緑岡地区常磐台福祉会、イオンタウン(株)イオンタウン水戸南、武田光世、西村初枝、石山仏具店、関東創建(株)、栗原紀子、鈴木緑化サービス、鈴木洋子、高柳美幸・高柳真美、真子勉、下野澄子、堀江君子、昭和建設(株)林博之、グループホームメロン・ばなな、若山繁、谷田部典子、田口美代子、古川文子、城東女性会、有田みよ、市嶋喜久代、関根勲、葉梨芳子、水戸米沢郵便局、城東ふれあい電話にじの会



与三郎庵様より寄付金

「東日本大震災」義援金募集

1. 募集期間 平成24年3月31日(土)まで
2. 銀行から振り込む場合

| 金融機関 | 支店名 | 口座番号 | 名義等 |
|---------|------|-----------------|-------------------------------|
| 常陽銀行 | 本店 | 普通預金 3588989 | 社会福祉法人 茨城県共同募金会 東北関東大震災 |
| 筑波銀行 | 県庁支店 | 普通預金 1091415 | |
| 茨城県信用組合 | 千波支店 | 普通預金 7544637 | |
| 東日本銀行 | 水戸支店 | 普通預金 598722 | |

※上記各行本支店の窓口からの振込手数料は無料となります。ATMからの振込みは手数料がかかります。

3. 義援金をお持ちいただく場合の窓口

- ア. 社会福祉法人 茨城県共同募金会
所在地 水戸市千波町1918
茨城県総合福祉会館2階
連絡先 ☎029-241-1037
- イ. 茨城県共同募金会水戸市支会
所在地 水戸市赤塚1-1(ミオス内)
連絡先 ☎029-309-5001

お知らせ

心配ごと相談

財産・家族・離婚問題など、あらゆる心配ごとや悩みごとの相談に応じています。(電話相談はできません。予約不要。当日、受付順に相談) 日時/毎週火・木曜日(祝日を除く) 13時～15時 30分まで受付
場所/福祉ボランティア会館(赤塚1-1)
問合せ/社会福祉協議会 ☎309・5001

ボランティア相談

ボランティアに関する情報やボランティア活動をしてみたい方・受けたい方に専任のコーディネーターがお応えいたします。 日時/毎週火～土曜日(祝日・年末年始を除く) 9時30分～12時、13時～16時30分
場所/福祉ボランティア会館(赤塚1-1)
問合せ/ボランティアセンター ☎309・1011

地域ケアシステム

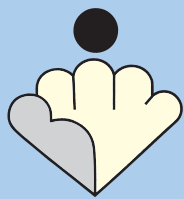
高齢者や障害のある方、難病などで生活の手助けが必要な方々を対象に、住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう、医師・保健師・民生委員・ヘルパー・近隣の協力者等連携しながら在宅生活を支援します。 日時/毎週月～金曜日(祝日除く) 9時30分～12時・13時～16時30分
問合せ/中央ケアセンター ☎309・5101
緑岡ケアセンター ☎243・3244

編集後記

立冬を迎え、暦の上では冬となる11月。木々の葉が落ち始め、寂しさを感じる一方で、七五三や酉の日に開かれる酉の市などで賑わいを見せます(残念ながら水戸では酉の市が開かれていないようです)。今年の11月は、「酉の日」が3日あります。昔からの言い伝えでは、「三の酉」まである年には、活気がありすぎて、火事が多くなるそうです。活気があることは喜ばしいことですが、火事には十分注意したいものです。(広報委員 高安 正紀 記)

年末年始休みのお知らせ

| | 休みの期間 |
|---------------------------|-------------------|
| 福祉ボランティア会館 | 12月29日(木)～1月3日(火) |
| ボランティア相談 | |
| 在宅福祉サービスセンター | 12月29日(木)～1月3日(火) |
| 老人福祉センター「柳堤荘」、「あかね荘」、「常澄」 | |
| 老人福祉センター「南部」、「末広」 | 12月28日(水)～1月4日(水) |
| 心配ごと相談 | 12月29日(木)～1月3日(火) |



(ボランティアセンター
シンボルマーク)

ボランティアセンター だより

問 合 せ・申込み等

「ボランティア国際年+10」

「ボランティア国際年」(2001年)から10年目にあたる2011年を国連は「ボランティア国際年+10(プラステン)」と位置づけ、再びボランティア推進を世界中に呼びかけています。

水戸市社会福祉協議会ボランティアセンター
〒311-4141 水戸市赤塚1-1(水戸市福祉ボランティア会館内)
☎ 029-309-1011・FAX 029-309-1139
(<http://www.mito-syakyo.or.jp>)

ボランティアサークル連絡会・研修会

9月3日水戸市福祉ボランティア会館大研修室にて、ボランティアサークル連絡会と研修会が行われました。研修会では、水戸市城東に在住の藤澤二三夫先生より「科学技術が支える福祉機器及び介護・福祉ロボット」と題して、楽しくわかりやすく講演をいただきました。「使いやすい介護ベット・リハビリを支援するロボットや心理療法のセラピーロボット」など、障害がある方の生活の質の改善に幅広く役に立っていると再確認をしました



昔懐かしいロボットや人形から、今の福祉ロボットへのお話

災害支援ボランティア講座

9月27・28日の2日間、福祉ボランティア会館で災害支援ボランティア講座が行われました。‘独立行政法人 防災科学研究所の研究員坪川博彰氏’及び‘独立行政法人 日本原子力研究開発機構の藤川良道氏’を講師に迎え、災害時の基礎知識を取得し自分で出来ることや支援出来ることを考え、災害時に備えて自分が住んでいる地域に起こる可能性のある災害とは何かを学びました。

延80名の参加者は、地域防災計画やハザードマップの説明を聞いた後「マップを活用した自然災害のリスクの理解」や「放射線と健康への影響について」の講話とグループに分かれて災害時の被害を想定し「防災ラジオドラマづくりのワークショップ」体験を行い、参加した方には「3月11日の地震当日それぞれの状況や体験談を活かし、今後の地域での防災対策に役立てたい」、「正確な放射線による健康への影響について知ることができて安心した」などの感想をいただきました。



「放射線と健康への影響について」のわかりやすいお話



災害を想定した「防災ラジオドラマづくり」に奮闘中

あったが通信



ボランティアまつり in ミオスで来場者と一緒に(福祉ボランティア会館)



いろんな姿勢で楽しめます(茨城県水戸生涯学習センターを会場に)

“ありがとう”“お互いさま”の精神で

水戸いきいきヘルス体操・睦会 菅原 利満

「睦会」は、主に地域の高齢者の皆様に対してシルバーリハビリ体操の普及と実技指導を行い、健康づくりと会員のいきがい活動に取り組む事を目的に、平成18年4月に設立されました。

会員は、茨城県知事認定の「シルバーリハビリ体操指導士」で構成されています。シルバーリハビリ体操は、テレビでお馴染みの県立医療大学名誉教授で県立健康プラザ管理者の大田仁史先生が考案された体操です。この体操は、高齢者の健康の保持増進を図り、また、介護予防を目的として、日常生活機能や体力の維持向上を図るものです。高齢者や障害のある人を始め、誰でも、いつでも、いろいろな姿勢でも出来る体操です。道具も使わずに、自分の体で強さを加減しながら行えるので身体に優しいと好評です。

これからも地域の皆様のご協力を頂きながら、シルバーリハビリ体操の普及と会員相互の研さんに努めたいと思います。宜しくお願い致します。